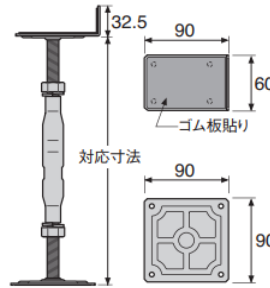
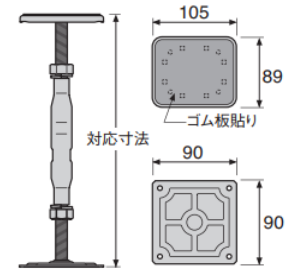




■ 大引受 (Lタイプ)



■ 大引受 (Tタイプ)



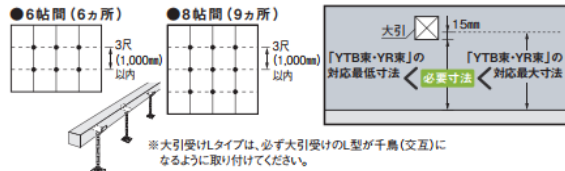
▲ 注意

- ◎ YR東は金属製のため取り付け時、ケガなどにご注意ください。
- ◎ 対応寸法以上の高さでは、絶対に使用しないでください。
- ◎ YR東に対して、不必要な打撃や分解、改造は行わないでください。
- ◎ YR東は、主要構造部扱いにならない床組にご使用ください。
- ◎ YR東は、事後の調整代を考慮し、必要寸法プラス15mm程度の製品をお選びください。
- ◎ 防湿モルタル(60mm以下)の場合は、必ず東石をセットした状態で使用してください。
- ◎ 付属のコンクリート釘は、コンクリート埋設配管箇所には打たないでください。配管が破損する恐れがあります。
- ◎ 銅、鉛等を含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材等)との接触・接合は避けてください。付着した場合は、水でぬらした布で拭き取り、乾拭きしてください。

品番	YR-1827L	YR-2438L	YR-3045L	YR-3953L
色・柄	シルバー(メッキ)			
対応寸法	192~267mm	247~382mm	292~447mm	397~532mm
表面処理	めっき処理(ダクロ相当)			
梱包	25コ/ケース			
最大圧縮荷重(測定値)	36.78kN (3,753kgf)	22.89kN (2,335kgf)	21.26kN (2,169kgf)	21.11kN (2,154kgf)
正価	—			
付属品	取付ビス(φ4×40mm)100本・コンクリート釘(φ3×25mm)50本			

■ 施工の前に

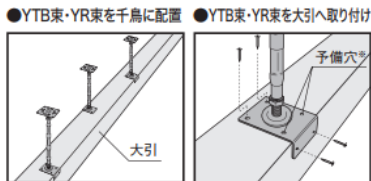
- YTB東・YR東の高さ調節および、ターンバックルの固定に必要なスパナ(19mm)を2本準備してください。
- YTB東・YR東下端を固定する別売品の接着剤(つかボンドW)を準備してください。
- YTB東・YR東の取り付け位置は、前後左右、おおむね間隔3尺(1,000mm)以内となるように取り付けます。



施工手順

■ ステップ1

大引を反転させ、同梱の取付ビス(φ4×40mm)4本でLタイプは大引受を千鳥(交互)に、Tタイプは大引のセンターに取り付けます。



■ ステップ2

大引を所定の位置にセット後、鋼製のフランジを土間コンクリートまたは東石まで下げ、接着剤がはみ出さずまで圧着します。



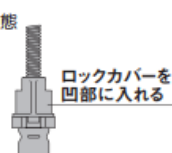
※下端の固定で接着剤の養生が必要な場合は、現場調達のコクリート釘2~4本打ち、またはホールインアンカー(市販品)留めをお勧めします。

● ロック解除



製品がロックの状態の場合は、ロックカバーを持ち上げ、左または、右に回してロックを解除してください。

● ロック状態

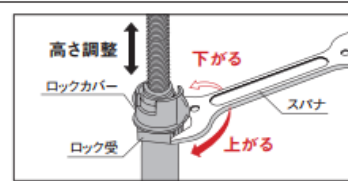


フランジが土間コンクリートまたは、東石に到達後はロックの状態にしてください。

※製品を使用する高さに伸ばして大引をセットする場合は、ロックカバーがロック解除の状態になる恐れがありますので、ストッパーナットをロックカバーの位置までかるく締めてから行ってください。

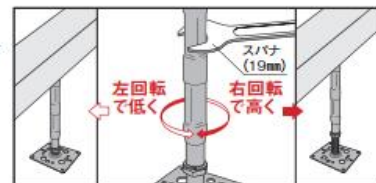
■ ステップ3

ロックカバーがロックの状態でもロック受(ナット部)を付属のスパナ(30mm側)で回転させ、高さを調整します。



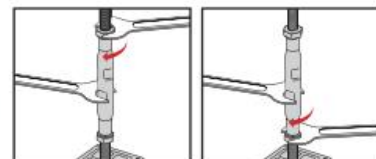
■ ステップ4

ターンバックルをスパナ(19mm)で回転させ、高さを微調整します。



■ ステップ5

高さ調整後、ターンバックルにスパナ(19mm)を掛けて固定し、上下のストッパーナットをもう1本のスパナ(19mm)で締め付けてください。



※上下ナットとも右回転で締まります。

注) 上下のストッパーナットの締め付けが不完全ですと固定が不十分になり、床レベルの低下や床鳴りの原因となる場合があります。

建物完成後などにYTB東・YR東の高さを再調整するには

上下のストッパーナットをゆるめて、手順【ステップ4~5】に従ってください。